

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	『新編 文学国語』(大修館書店)		
使用副教材		なし					

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	1 明日をひらく	2 小説を楽しむー	古典の世界 1	3 詩を味わう
2 学期	4 名作を読むー	古典の世界 2	5 社会に生きる	
3 学期	6 表現を味わう	古典の世界 3	読書の広場	恋のうた

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い	○	○	
課題レポート	○	○	○
ノート提出			○
その他提出物			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	地歴公民	科目	公共	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	高等学校 改訂版 新公共 (第一学習社)		
使用副教材		なし					

1 科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力・人間性等
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し

2 学習内容・年間計画

1 学期	第1編 公共の扉 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち
2 学期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第2章 政治的な主体となる私たち 第3章 経済的な主体となる私たち
3 学期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第3章 経済的な主体となる私たち 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い		○	
課題・レポート提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	高校数学Ⅰ（実教出版）		
使用副教材		ステップノート数学Ⅰ（実教出版）					

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したえいする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	1 章 数と式 2 章 2次関数	3 節 方程式と不等式 1 節 関数とグラフ
2 学期	2 章 2次関数 3 章 三角比	2 節 2次関数の値の変化 1 節 三角比 2 節 三角比の応用
3 学期	4 章 集合と論証 5 章 データの分析	

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題提出	○	○	
その他提出物	○	○	○
発表・話し合い		○	○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	3単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	高校 生物基礎（実教出版）		
使用副教材		アクセスノート 生物基礎 新課程版（実教出版）					

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	1章 生物の特徴 2章 遺伝子とその働き
2 学期	2章 遺伝子とその働き 3章 ヒトのからだの調節
3 学期	4章 生物の多様性と生態系

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
観察・実験	○		
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
実験レポート		○	○
課題提出		○	○
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3単位	学習形態	合併分割
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	なし		
使用副教材		アクティブスポーツ2025 (大修館)					

1 科目の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	体育理論、集団行動、体づくり運動、 (柔道、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール) から1種目選択
2 学期	体育理論、体づくり運動、陸上競技(持久走)、 (バレーボール、バドミントン、サッカー) から1種目選択 (器械運動、陸上競技、ダンス) から1種目選択
3 学期	体育理論、体づくり運動、 (柔道、バレーボール、バドミントン、サッカー) から1種目選択

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実技テスト	○	○	
自己・相互評価	○	○	○
発言・行動観察	○	○	○
機敏な言動	○	○	○
事故防止	○	○	
周囲との関わり		○	○
準備、片づけ			○
遅刻、忘れ物、見学		○	○
備考			

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	現代高等保健体育（大修館）		
使用副教材		現代高等保健体育ノート（大修館）					

1 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	【3単元 生涯を通じる健康】 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康
2 学期	7. 中高年期と健康 8. 働くことと健康 【4単元 生涯を通じる健康】 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動
3 学期	7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医療品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期テスト	○	○	
課題発表	○	○	○
学習ノート	○	○	○
課題の提出		○	○
遅刻・欠課等の勤怠状況			○
日々の授業態度			○
備考			

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	音楽Ⅱ Tutti+ (大修館)		
使用副教材		ミュージックノート (啓隆社) 各種プリント					

1 科目の目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

1 学期	「ソルフェージュ」 「歌唱」 「楽典・鑑賞」	読譜の練習 教科書の曲を中心に 楽譜の簡単な決まり事の学習、楽曲鑑賞
2 学期	「歌唱・鑑賞」 「器楽」	諸外国語の歌、国内外の名曲を中心に ギターの基礎練習とコード伴奏の弾き歌い
3 学期	「講義・鑑賞」 「歌唱・講義」	基礎的な楽典、管弦楽の基礎知識 混声合唱の基礎練習と実践

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
演奏 (歌唱・器楽)	○	○	○
鑑賞	○	○	○
ノート	○	○	○
自己・相互評価	○	○	○
準備物			○
備考			

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	教育図書 書道Ⅱ		
使用副教材		なし					

1 科目の目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組む、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	隷書の学習（曹全碑・乙瑛碑） 篆書の学習（甲骨文・石鼓文・金文・創作） 行書・草書の学習（書譜・王鐸・灌頂歴名） 硬筆
2 学期	篆刻・刻字 楷書の学習（顔勤礼碑・楽毅論） 仮名の学習（三色紙）
3 学期	漢字仮名交じりの書（実用書） 仮名の学習（三色紙） 硬筆

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品（技術）	○	○	
作品（制作シート）		○	○
作品ワークシート	○		○
小テスト	○	○	
自己・相互評価	○	○	○
用具準備			○
備考			

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	VISTA English Communication I (三省堂)		
使用副教材		VISTA English Communication I ワークブック (三省堂)					

1 外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	Lesson 6 Machu Picchu 謎を秘めた世界複合遺産マチュ・ピチュ Lesson 7 Artificial Intelligence 人とAI (人工知能) が共存する未来とは？
2 学期	Lesson 8 Is There a Santa Claus? サンタクロースって本当にいるの？ Lesson 9 Kids' Guernica 『ゲルニカ』の平和への祈り
3 学期	Lesson 10 Ethical Fashion エシカルファッションってなんだろう？

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
聞くこと	○	○	
読むこと	○	○	
やり取り・発表	○	○	○
書くこと	○	○	○
課題提出			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	全クラス	教科書	未来へつなぐ家庭総合365（教育図書）		
使用副教材		家庭総合365準拠ノート（教育図書）					

1 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理敵に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	青年期の自立と家族・家庭 子どもの生活と保育	[通年] 学校家庭クラブ活動
2 学期	青年期の自立と家族・家庭 消費生活と意思決定 持続可能なライフスタイルと環境	
3 学期	消費生活と意思決定 共生社会と福祉	

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
作品製作	○	○	
実習・実験	○		
発表・話し合い		○	○
課題提出	○	○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	作物	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	農業生産科	教科書	作物（実教出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、作物の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	作物生産と経営に関するプロジェクト学習 作物生産の役割と動向 各作物の特性と栽培技術
2 学期	作物の栽培と管理・評価 作物の作型と栽培計画 作物の栽培管理、商品化
3 学期	作物の品種改良と育種 作物生産と経営の実践 起業や六次産業化、ブランド化

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
発表・話し合い		○	○
課題提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	野菜	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	農業生産科	教科書	野菜（実教出版）		
使用副教材	なし			主な授業形態	座学・実習		

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	第1章 ・野菜生産の役割と動向 ・香川県における野菜栽培の現状 ・夏野菜（ナス・キュウリ・メロン・スイカ・カボチャ等）の概要について
2 学期	第2章 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術 ・秋野菜（トマト、ブロッコリー、カリフラワー、キャベツ、ハクサイ、ダイコン、レタス、ニンジン、タマネギ）の概要について
3 学期	第3章 野菜の育苗 ・ジャガイモについて 第4章 野菜経営の改善 ・作業体系の改善（GAP） ・生産と流通の改善

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
発表・話し合い		○	○
課題提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	果樹	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	農業生産科	教科書	果樹（実教出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態	座学・実習	

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、果実の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
果実の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	果実の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	果実の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	第1章 ・果樹とプロジェクト学習 ・果樹の種類と果実の利用 ・果樹栽培の動向		
2 学期	第2章 ・果樹の生育と生理 第3章 ・苗木の育成 ・水分管理	・果樹栽培と環境 ・土壌管理 ・結実管理	・栄養と施肥 ・結果調整
3 学期	・結果習性と整枝・せん定 ・病虫害の防除 ・気象災害の防止 ・植物成長調整剤の利用		

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
発表・話し合い		○	○
課題提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	草花	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	環境園芸科	教科書	草花（実教出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	草花園芸の特徴 草花生産と消費の動向 草花の生育と環境
2 学期	草花の生育と環境 鉢もの生産の特色
3 学期	花壇用草花生産の特色 花壇用草花の栽培 草花経営の改善（G A P等）

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い		○	○
課題提出	○	○	○
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	造園計画	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	環境園芸科	教科書	造園計画（農機大出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、造園計画に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
造園計画について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	造園計画に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	造園計画について目的や環境に応じた造園空間の創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	造園計画の意義と緑地環境の役割 環境と造園の様式
2 学期	環境と造園の様式 庭園の計画・設計
3 学期	庭園の計画・設計

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○		
小テスト	○	○	
発表・話し合い		○	
課題提出		○	
その他提出物	○		○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	農業機械	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	環境園芸科	教科書	農業機械(実教出版)		
使用副教材	なし			主な授業形態	座学・実習		

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業機械の取り扱いと維持管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
農業機械について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業機械に関連する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業機械について特性を理解し、効率的な利用へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	1 農業機械の役割 (1)農業機械化の意義 (2)農業機械の利用とその現状 2 原動機 (1)内燃機関 ①ガソリンエンジン
2 学期	②ディーゼルエンジン (2)電動機 3 乗用トラクタ 4 作業機 5 農業機械と安全
3 学期	6 農業生産と農業機械の利用 7 農業機械による自動化

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い		○	
課題提出		○	○
その他提出物	○		○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	畜産	単位数	6単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	動物科学科	教科書	畜産（実教出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	<p>【養牛】①肉牛・乳牛の特性 ②肉牛・乳牛の品種と選び方 ③牛舎の施設・設備とその利用</p> <p>【養豚】①ブタの特性 ②ブタの品種と選び方 ③養豚の施設・設備とその利用</p> <p>【養鶏】①ニワトリの特性 ニワトリの品種の選び方 ③施設・設備とその利用 ④繁殖の生理</p>
2 学期	<p>【養牛】④牛の繁殖 ⑤子牛の育成 ⑥牛の飼育管理 ⑦牛の病気と予防衛生 ⑧酪農の経営 ○乳牛・肉牛の飼養管理実習</p> <p>【養豚】④ブタの繁殖 ⑤子豚の育成 ⑥肉豚の肥育 ⑦肉豚の流通 ⑧ブタの病気と予防衛生 ○ブタの飼育管理実習</p> <p>【養鶏】⑤種卵～ふ化 ⑥育すう ⑦産卵鶏の飼育管理 ⑧予防衛生と病気 ○ニワトリの飼育管理実習</p>
3 学期	<p>【養牛】⑨肉牛の経営 ○乳牛・肉牛の飼養管理実習</p> <p>【養豚】⑨養豚の経営 ○ブタの飼育管理実習</p> <p>【養鶏】⑧予防衛生と病気 ⑨その他の家畜 ○ニワトリの飼育管理実習</p>

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
課題提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	作物	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	食農科学科	教科書	作物（実教出版）		
使用副教材	プロが教える農業のすべてがわかる本（ナツメ社）			主な授業形態	座学・実習		

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、作物の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 作物生産の役割と動向（作物生産の役割とその利用 作物の流通と需給の動向） 作物の特性と栽培技術（作物の種類と特徴 作物の生育と生理 品種改良と繁殖）
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 作物の栽培と管理と評価（作型と栽培計画 商品化と生産物の管理） 作物の生産と経営（生産目標と経営計画 生産工程の管理）
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 作物の生産と経営（生産目標と経営計画 生産工程の管理 流通と販売 地域環境に配慮した作物生産） 作物生産と経営の実践

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
観察・実験			○
小テスト	○		
発表・話し合い		○	○
実験レポート			○
課題提出		○	○
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	食品製造	単位数	4単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	食農科学科	教科書	食品製造（実教出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 食品製造の動向と意義について 食品加工と食品衛生について
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 食品の安全と品質表示 機械と装置の利用
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 生産工程の管理と改善 食品の製造実習

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
観察・実験		○	○
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
実験レポート			○
課題提出			○
その他提出物			○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	栽培と環境	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	農業生産科・環境園芸科	教科書	栽培と環境(実教出版)		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、栽培植物の育成環境の調整・管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	栽培と環境について農業生物の栽培や管理に応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	序章「栽培と環境」を学ぶにあたって 第1章 栽培と環境 第2章 栽培植物の発育・生理と栽培技術 1節 作物の種類と特徴 2節 作物の一生 3節 作物の発育と成長の調節 4節 作物体内の生理作用 5節 作物の成熟と老化 6節 栽培技術
2 学期	3節 作物の発育と成長の調節 4節 作物体内の生理作用 5節 作物の成熟と老化 6節 栽培技術 第3章 栽培環境－気象的要素 1節 気象と気候 2節 気象と作物の生育
3 学期	第4章 栽培環境－土壌的要素 1節 土壌の役割 2節 土壌の機能 3節 土壌中の窒素の動態 4節 土壌肥沃度の管理 5節 土壌の管理と改良

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト			
発表・話し合い		○	○
課題提出			
その他提出物			○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	食品製造	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	動物科学科	教科書	食品製造（実教出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	食品製造の意義と動向について 食品加工と食品衛生について
2 学期	畜産物の加工 肉類の加工、牛乳の加工、鶏卵の加工
3 学期	食品の変質と貯蔵 食品製造の実践と企業化

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト			
発表・話し合い		○	
課題提出			○
その他提出物			○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	食品微生物	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	食農科学科	教科書	なし		
使用副教材	食品微生物（実教出版）			主な授業形態	座学・実習		

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品微生物の利用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
食品微生物について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品微生物に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品微生物について特質を理解し、農業の各分野で利用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 「食品微生物」とプロジェクト学習 <ol style="list-style-type: none"> 食品と微生物 食品微生物に関するプロジェクト学習の意義と進め方 食品微生物の種類 <ol style="list-style-type: none"> 形態と種類 形態と種類
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 食品微生物の種類 <ol style="list-style-type: none"> 栄養と生理 増殖と遺伝 酵素と種類 代謝
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 微生物利用の動向（微生物の改良 固定化生体触媒 エネルギー生産環境保全と浄化） 微生物利用の実践 食品微生物の実験（基本操作 かび・酵母・細菌の分離と培養 キノコの培養）

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
観察・実験	○		○
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
実験レポート		○	○
課題提出	○	○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	総合実習	単位数	4単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	農業生産科	教科書	なし		
使用副教材		なし			主な授業形態		実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	播種・機械による移植・トラクタ耕耘・代かき・水管理 野菜苗・施設野菜・露地野菜の栽培 果樹の施肥・防除 ウメの収穫
2 学期	トラクタ耕耘・コンバインによる収穫・調整・出荷 野菜苗・施設野菜・露地野菜の栽培 果樹の施肥・防除 ブドウ・カキ・ミカンの収穫
3 学期	トラクタ耕耘・草刈り・水田周囲の環境整備 野菜苗・施設野菜・露地野菜の栽培 果樹の施肥・防除・せん定 不知火の収穫

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実習記録ノート	○	○	
実習態度			○
農業鑑定競技	○		
準備物		○	○
遅刻・欠課等			○
先端農業実地研修		○	○
地域農業学習			○
備考			

教科	農業	科目	総合実習	単位数	4単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	環境園芸科	教科書	なし		
使用副教材		なし			主な授業形態		実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	草花の栽培方法やラン科植物の栽培管理を習得する 樹木の整枝と剪定、樹木の病害虫の防除を習得する 農業機械の修理や整備技術を習得する
2 学期	草花の栽培方法やラン科植物の栽培管理を習得する 庭園用植物の栽培と庭園管理作業等を習得する 農業機械の修理や整備技術を習得する
3 学期	草花の栽培方法やラン科植物の栽培管理を習得する 樹木の整枝と剪定、樹木の病害虫の防除を習得する 農業機械の修理や整備技術を習得する

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実習記録ノート	○	○	
実習態度			○
農業鑑定競技	○		
準備物		○	○
遅刻・欠課等			○
先端農業実地研修		○	○
地域農業学習			○
備考			

教科	農業	科目	総合実習	単位数	4単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	動物科学科	教科書	なし		
使用副教材		なし			主な授業形態		実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	牛、豚、鶏、その他の動物（カピバラ、ヤギ、マーラ、ミーアキャットなど）の飼育管理に関する基礎的な実習
2 学期	牛、豚、鶏、その他の動物（カピバラ、ヤギ、マーラ、ミーアキャットなど）の飼育管理に関する実践的な実習
3 学期	牛、豚、鶏、その他の動物（カピバラ、ヤギ、マーラ、ミーアキャットなど）の飼育管理に関する応用的な実習、および総合的な経営や管理に関する学習

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実習記録ノート	○	○	
実習態度			○
農業鑑定競技	○		
準備物		○	○
遅刻・欠課等			○
先端農業実地研修		○	○
地域農業学習			○
備考			

教科	農業	科目	総合実習	単位数	4単位	学習形態	クラス単位
学年	2学年	学級	食農科学科	教科書	なし		
使用副教材		なし			主な授業形態		実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	栽培と加工、環境等に関する基礎的な実習
2 学期	栽培と加工、環境等に関する実践的な実習
3 学期	栽培と加工、環境等に関する応用的な実習および経営や管理の手法

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実習記録ノート	○	○	
実習態度			○
農業鑑定競技	○		
準備物		○	○
遅刻・欠課等			○
先端農業実地研修		○	○
地域農業学習			○
備考			